

第13回 日本医療ソーシャルワーク学会 宮城大会

— 開催のご案内 —

大会テーマ

「繋がり」の再構築 ～ 厄災を乗り越える手立ての共有～

開催日：令和4年9月17日(土曜日) 13:30～17:15

オンライン懇親会 18:30～20:30

9月18日(日曜日) 9:15～13:00

会場：仙都会館 (仙台市青葉区中央2丁目2-10 仙都会館ビル)

主催：日本医療ソーシャルワーク学会 <http://www.jsmsw.jp/>

共催：宮城県医療ソーシャルワーカー協会

後援：現在調整中

開催方法：ハイブリット開催

<申込み・問い合わせ先>宮城大会事務局

〒819-0002 福岡市西区姪の浜2-2-50

福岡ハートネット病院 医療社会福祉部内

TEL 代表 092-881-0735

FAX 代表 092-882-1605



日本医療ソーシャルワーク学会

1. 大会スケジュール

(1日目) 9月17日(土曜日) 会場：仙都会館(ハイブリット開催)

13:00 受付開始

13:30~13:45 開会式

13:45~14:45

基調講演：「コロナと2040年から考えるこれからの医療」

講師：伊原和人先生(厚生労働省 政策統括官)

今般のコロナ対応を通じて、改めて、保健所や医療機関の方々の働きに目が向きましたが、同時に、「病床は多いのに、なぜすぐ医療がひっ迫するのか」など、我が国の医療提供体制の課題も明らかとなりました。これらの課題は、感染症対応に限られたものではなく、民間主体で多数の医療機関が競合する日本の医療提供体制の特徴に根ざしたものです。今後の新興感染症への備えとともに、人口減少が進み、医療人材の確保が課題となる中で、医療現場の対応力を維持・強化していくためにも、2年余りのコロナ禍の教訓を踏まえた見直しが必要になっています。

また、岸田内閣の下、全世代型社会保障改革の議論が継続されており、2040年を想定した医療提供体制の在り方も議論されています。

本講演では、今回のコロナ対応の経験、そして、2040年までの人口変動を考える時に、今後の医療提供体制がどう変わっていくのか、変わっていく必要があるのかについて、お話できればと思います。

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00

特別講演1：「地域包括ケアシステムにおける認知症ケア～作業療法士の立場から」

講師：香山明美先生(東北文化学園大学 医療福祉学部 教授)

「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」を目指して地域包括ケアシステムに関する取り組みを進めている自治体も多い。認知症の方がその方が住むべき街で安心して暮らせるためには支援者ばかりでなく地域住民など多くの方々の理解が重要になる。作業療法士の関りは、入院医療から地域生活支援まで幅広い。今回は、医療における認知症の方への作業療法のあり方、在宅生活を送る上での工夫の仕方、家族支援のあり方、自治体での認知症施策への支援など作業療法士の実践を紹介し、地域包括ケアシステムにおける多職種、他機関連携により進める認知症ケアのあり方を考えたい。

16:00~16:15 休憩

16 : 15～17 : 15

特別講演 2 : 「よりよく生きる」をプロデュースする総合生活産業を目指して～「脱病院」から生まれたソーシャル・イノベーション～

講師: 浜崎千賀先生 (株式会社 Kitahara Medical Strategies International 代表取締役)

北原グループは、「新しい医療＝すべての人がよりよく生きよりよく死ぬる社会を創る総合生活産業である」と考え、東京都八王子市で一貫した医療を提供する傍ら「超高齢社会でも持続可能なあるべき社会」を実現すべく、国内外において独自の事業開発を進めている。また、東日本大震災直後から10年間、宮城県東松島市内の仮設住宅群にて必要な医療サービスを提供しながらも、医療や病院に閉じることなく様々な地方創生プロジェクトを進めてきた。さらに2021年には、同市内の高台移転地に、持続可能な医療・介護の提供と教育を行いながら「健康寿命が長いまち」という新たなライフスタイルを住民らと共創する拠点施設「いろどりの丘」を新設し、総合生活産業としての施設運営を開始している。震災復興をきっかけに生まれた医療と文化、そして交流を掛け合せた独自の取り組みをもとに「脱病院」から見えたソーシャル・イノベーションの可能性を報告する。

18 : 30～20 : 30 オンライン懇親会

(2日目) 9月18日 (日曜日) 会場: 仙都会館 (ハイブリット開催)

9 : 00 受付開始

9 : 15～10 : 30 実践報告

10 : 30～10 : 45 休憩

10 : 45～12 : 30 ワークショップ

ワークショップ①

テーマ: 誰もがよりよく生きて死ぬる社会を創る～そのために「医療」「病院」そして、「私たち」ができることは?

講師: 浜崎千賀先生 (株式会社 Kitahara Medical Strategies International 代表取締役)

ワークショップ②

テーマ: 「認知症ケア最前線」

講師: 香山明美先生 (東北文化学園大学 医療福祉学部 教授)

ワークショップ③

テーマ: 「社会資源について改めて考える」

講師: 佐々木哲二郎先生 (一般社団法人 まちづくり四日市役場)

12：30～12：40 休憩

12：40～13：00 全体会

13：00～13：30 第14回日本医療ソーシャルワーク学会案内
連絡事項

13：30 閉会

1. 研究発表

開催にあたり研究発表を募集いたします。申し込み締切は6月30日（木）です。採否のお知らせは、7月末までに連絡させていただきます。また抄録原稿の締切は8月15日（月）です。

※詳細は別紙第13回日本医療ソーシャルワーク学会「研究発表」発表演題募集のご案内をご参照ください

2. ワークショップ（事前申込み必要）

*ご希望に添えない場合がございます。何卒ご了承ください。

ワークショップ①

講師：浜崎千賀先生

テーマ：

誰もがよりよく生きて死ぬる社会を創る～そのために「医療」「病院」そして、「私たち」ができることは？

要旨：

日本は2013年から世界一の高齢社会であり、国連によると2050年まで日本は世界一の高齢社会であると予想されています。すでに日本社会は進む高齢化の影響で様々な深刻な変化がみられており、社会的に孤立し自宅などで誰にも知られず孤独に死んでしまう方が年間32,000人、高齢者の5人に1人は認知症にかかっているとされています。超高齢社会の日本で、誰もが安心・安全・快適・健康に生きられる社会の実現のために、「医療」や「病院」そして「私たち」が起こせるアクションはどのようなことでしょうか。北原グループが、「誰もがより良く生きて死ぬる社会」のために進めている具体的な実践例もご紹介した上で、皆さんとグループワーク形式でのディスカッションをしたいと思います。

ワークショップ②

講師：香山明美先生

テーマ：「認知症ケア最前線」

要旨：

認知症の方への支援は、記憶障害や実行機能障害といった認知症の中核症状よりは、不

安、抑うつ、興奮、更には暴言といった行動・心理症状への対応に困る家族の訴えから始まることが多い。家族が認知症への正しい理解と対応を工夫することで、行動・心理症状を軽減させることが可能だとも言われている。家族の本来の生活を取り戻し、生き生きと生活できるようになる支援が重要であることも多くの方が認識するようになってきている。このワークショップでは、認知症の方への初期からの関り、家族支援のあり方、認知症の方と家族を支援する職種や関係機関の連携あり方などを参加者の皆様の実践を共有しながら、より有効な支援のあり方を模索したい。

ワークショップ③

講師：佐々木哲二郎先生

テーマ：「改めて社会資源について、新たな実践に向け」

社会資源の研修では活用をどのように広げ深めるかという観点からテーマ設定されるのが一般的ですが、今回は社会資源とはそもそも何なのか、定義や分類を含め多面的に捉えてみます。

社会資源がソーシャルワークを特徴づける基本的概念であるからこそ、そこに着目することでこれまで使ってきた社会資源のフレームをはずし新たな実践—クライアントを取り巻く地域に社会資源のアンテナを広げ、活用から創設へとつなげたり—が期待されます。実践には少しハードルが高いと感じられるかもしれませんが、日常業務に疑問を抱いたり現状を変えたいと悩む方にぜひ参加していただきたいと思います。

4, 大会申込みについて (事前申込み必要)

申込みについては下記から Peatix でお申し込み下さい。

<https://jsmsw-miyagi.peatix.com>.



9月10日(土)までに、ご記入いただいたメールアドレス宛に配信用ミーティングIDをお送りいたします。ミーティングIDが届かない場合は、下記までご連絡いただけ助かります。

日本医療ソーシャルワーク学会宮城大会事務局

総合南東北病院 医療福祉相談室 菊地知憲

TEL : 0223-23-3746

Mail:msw@minamitohoku.jp

(参加申し込み期間) 2022年6月1日～2022年8月31日まで

5、大会参加費用について

大会参加費等は下記のとおりです。事務処理の都合上、同じ所属でもお一人ずつ手続きをお願いいたします。

(参加費)

日本医療ソーシャルワーク学会正会員、準会員・・・4.000円

非学会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・5.000円

学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・1.000円

6、会場

仙都会館 (仙台市青葉区中央2丁目2-10 仙都会館ビル)

JR 仙台駅 徒歩5分、JR 仙石線あおば通駅 徒歩1分、地下鉄広瀬通駅



7、当日の連絡先

日本医療ソーシャルワーク学会宮城大会事務局

kikuchitomonori0710@gmail.com